



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第8号

令和7年12月23日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(H P)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

交流をとおして、ていねいにかかわり合ってきた

校長 富永 浩文

「自分も周りの友達も大切にする。」そんな姿を目指して、4年生の子どもたちがひすいの里の子どもたちと交流をしました。そこには相手を思いやつてかける優しい言葉、笑顔がありました。一本一本小枝をくべる焚き火のように、温かな炎がともります。2学期の初めに全校の子どもたちに呼びかけた「ていねいに生きる」を具体化する光景が、あちらこちらの遊びのブースで見られました。

4年生の子どもたちとひすいの子どもたちの無邪気な声、届託のない笑顔、それを優しく見守る両校の先生方の穏やかな眼差しに、糸小がひすいの里とともにあることのありがたさを改めて実感します。子どもたちは、立場の異なる人とのかかわりの中で自分を相対化します。そして、相手がいることで自分の存在がある自己有用感と、自分とは違う個性をもつ相手を尊重する心が醸成されているように思いました。

4年生だけでなく、ほかの学年でも同様の交流がありました。心を耕し、豊かな社会性を育むうえで、意味のある活動ばかりでした。終業式では、こうした各学年の子どもたちのがんばった姿、成長した姿を評価しながら、3学期に向けてエールを贈りました。



1年生 羊のお世話をみんなで協力して粘り強く頑張りました。命の温かさ、命の大切さを体で味わいました。羊をとおして他の学年や学校、幼稚園など、色々な人とかかわりました。

2年生 野菜作りを継続しました。収穫したものを使って色々な調理にも挑戦しました。自分たちで考え、協力しながら遊びのコーナーを盛り上げ、1年生を楽しませていました。

3年生 ジオパーク交流会の発表をみんなで創り上げました。地域探検の学びをもとにしたたくさん のセリフを、表情豊かに、自信をもって発表する姿は、他校の子どもたちをうならせました。

4年生 ひすいの里の子どもたちとの交流で、色々な遊びのコーナーで楽しませました。クリスマスツリー作りでも、ひすいの里やほかの学年の子どもたちに丁寧にかかわっていました。

5年生 食の追究を進展させました。喫茶店「絲と糸」のオーナーさんやお客様とのかかわりでは、気配りができていて頼もしさを感じました。楽しいレシピも考え、提案していました。

6年生 学校の良きリーダーとして活躍しました。イベント活動では、アイディアや行動力を生かして、全校の子どもたちやひすいの里、幼稚園、保育園、地域の人たちを楽しませました。

子どもたちは、対面での熱心なやり取りをとおして、人とのかかわり方を学んでいます。心を耕し、日々成長しています。保護者の皆様には、学校、そして子どもたちを、温かく見守り支えていただきました。冬休み中も、家庭、地域での豊かなかかわりを期待します。良いお年をお迎えください。